

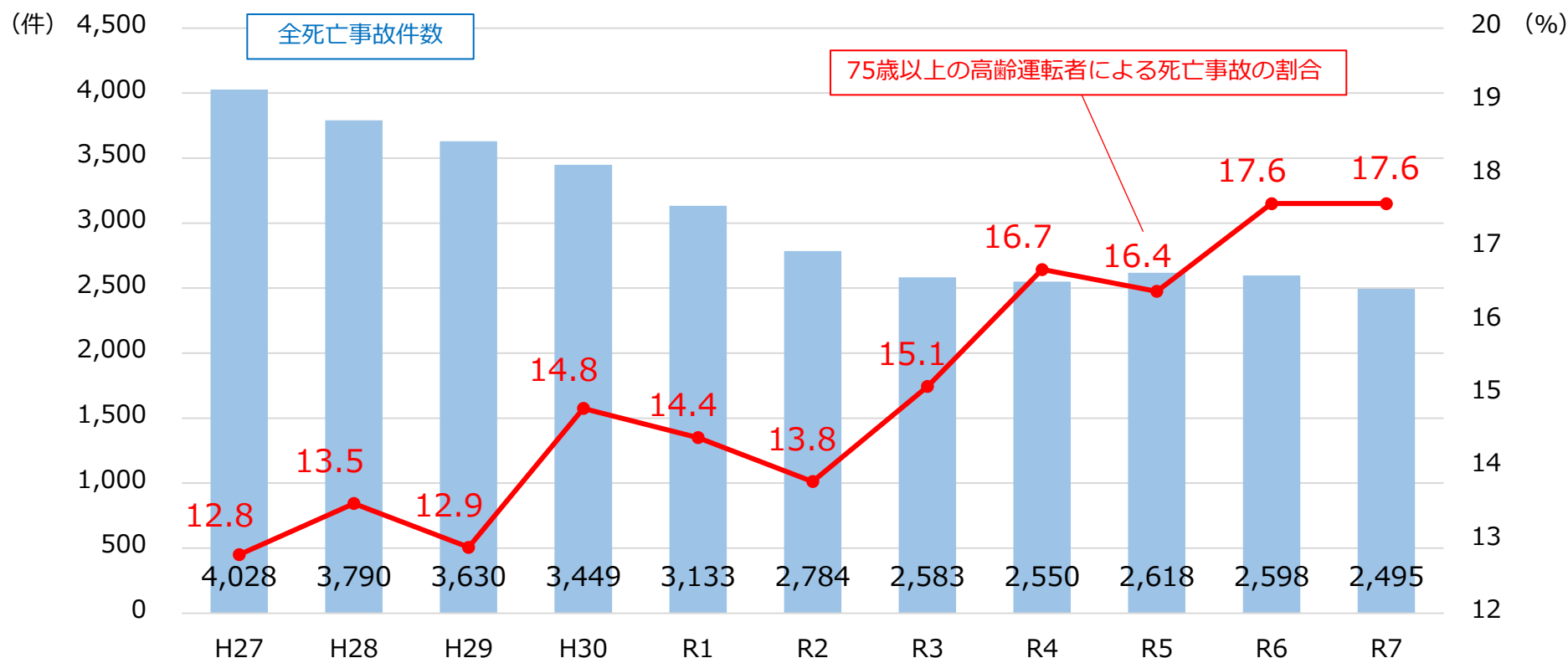
高齢運転者による交通事故状況

交通事故発生状況の推移

全死亡事故と高齢運転者による死亡事故の状況

- 全死亡事故件数は年々減少傾向にあり、令和7年は2,495件（前年比－103件）であった。
- 75歳以上の運転者による死亡事故の割合は増加傾向（令和7年は17.6%）。
→ 更なる死亡事故抑止のためには、75歳以上の運転者への対策の強化が必要。

全死亡事故件数と75歳以上の高齢運転者による死亡事故の割合の推移



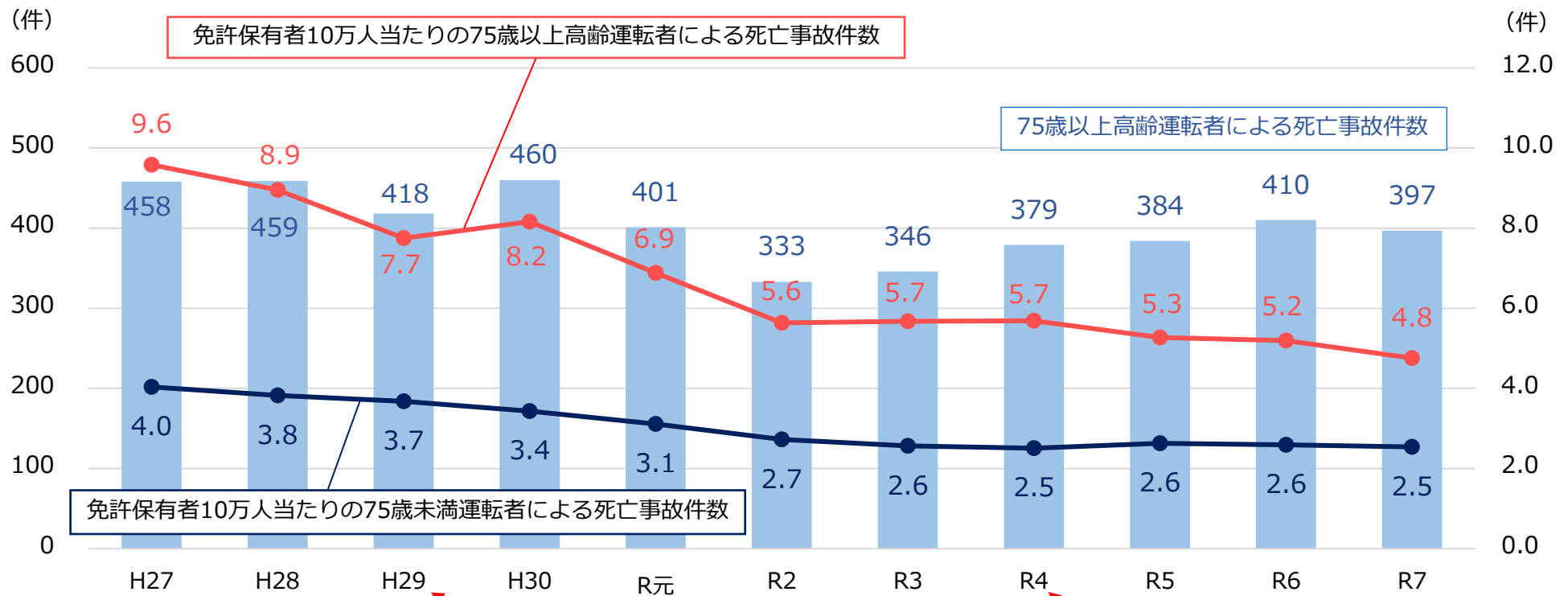
(注) 「75歳以上の高齢運転者による死亡事故の割合」とは、第1当事者が一般原付以上（令和5年は特定小型原動機付自転車を含む、以下同じ。）の運転者による死亡事故のうち、75歳以上の高齢運転者による死亡事故が占める割合をいう。

高齢運転者による死亡事故の状況

高齢運転者による死亡事故の状況

- 75歳以上の運転者による運転免許保有者当たりの死亡事故件数は依然として高い（75歳未満の約2倍）。
→ 更なる死亡事故抑止のためには、死亡事故実態に応じた対策の強化が必要。

死亡事故件数の推移



(注)

- ・ 第1当事者が一般原付以上
- ・ 運転者の年齢が16歳以上の事故について集計
- ・ 算出に用いた免許保有者数は、各年12月末の値である。

H29.3.12 臨時認知機能検査の導入（75歳以上）

R4.5.13 運転技能検査の導入（75歳以上）